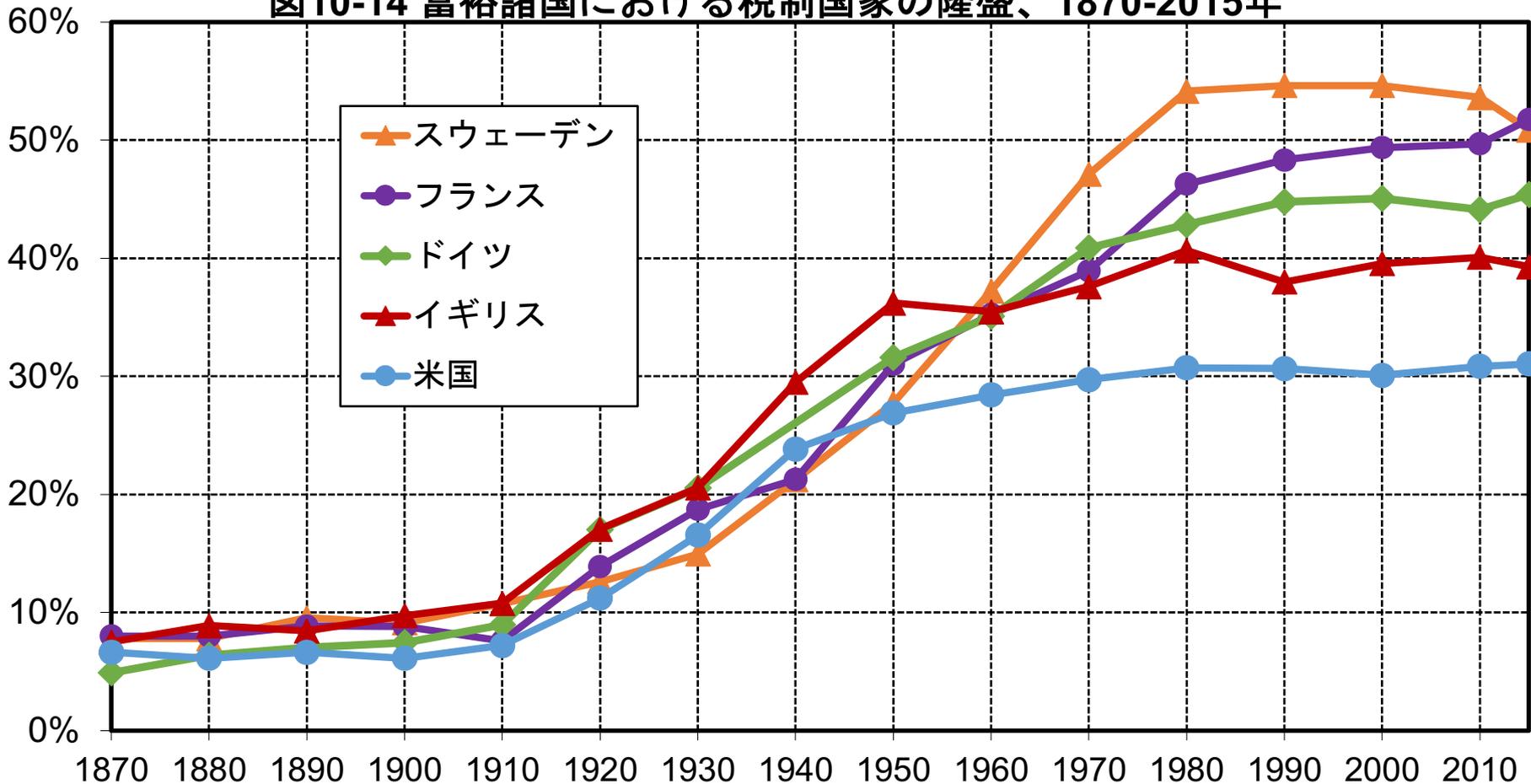


図10-14 富裕諸国における税制国家の隆盛、1870-2015年

総税収の対国民所得比



解釈: 総税収(すべての税、料金、社会保障負担の合計)は、19世紀と第一次世界大戦前の富裕国で国民所得の10%以下だったが、1910-1980年に急増し、その後国によって水準はさまざまだが安定した。米国で30%前後、イギリスで40%、ドイツ、フランス、スウェーデンで45-55%。
 出所と時系列データ: piketty.pse.ens.fr/ideology 参照。